

作成年月日	令和3年12月22日
作成部局	県土整備部景観形成室

## 景観条例改正案のパブリックコメント

### 1 背景・目的

県では、2025年に開催される大阪・関西万博等を見据え、大阪湾ベイエリアへの人の流れを兵庫に呼び込むよう取り組んでいます。

城下町の酒蔵や地場産業の景観を、ひょうごフィールドパビリオンの重要な要素として、その価値と魅力を更に高めるために新たな制度を創設します。

### 2 改正概要

#### (1) 景観形成重点区域の指定制度

佐用の平福、宍粟の山崎など県下で指定している景観形成地区内で、各地区の最も特徴的で優れた景観を有する区域を重点地区いわば“インスタ映えするスポット”として指定します。

建築物等を増改築等する場合は、届出を求め、基準への適合を義務付けます。

また、基準に適合させる工事費の一部の助成を行います。

歴史的な酒蔵が建ち並ぶ城下町《景観形成地区》



#### (2) 景観遺産登録制度

地場産業、レトロ商店街、但馬牛の里の風景を「景観遺産」として捉えて、ストーリー化、シリーズ化して登録します。例えば“播州織ファクトリーーズリズム”のコンテンツとして登録・発信していきます。

除却する場合には、届出を求め、必要に応じて指導・助言を行います。

ノコギリ屋根の織物工場《シリーズ》



明かりを探り込むための「ノコギリの刃」の形状の屋根は、織物産業で繁栄した町なみを象徴するものである。

### 3 今後のスケジュール（予定）

#### (1) パブリックコメント

令和3年12月23日（木）から令和4年1月12日（水）

#### (2) 公布：令和4年3月下旬

#### (3) 施行：令和4年4月1日

<問い合わせ先>

兵庫県県土整備部まちづくり局都市政策課景観形成室まちづくり景観班 TEL：078-362-9299

# 景観の形成等に関する条例の新たな制度の創設

I 景観形成地区等の中でも、地区の顔となるようなインスタ映えするスポットを重点的に整備し、若者も訪れたい聖地づくりを推進。地域の産業や文化を発信、体験できるフィールドパビリオンとなる区域を「景観形成重点区域」として指定して、建物などの整備を支援し、積極的に情報発信

II 古くからの歴史的な建物や風景はもちろん、地場産業の風景、昭和レトロな商店街、工場夜景など近代の景観にも着目し、各地の魅力ある産業や暮らしの景観についてシリーズ化・ストーリー化し、「景観遺産」として登録。地域資源・文化として、その意義や魅力を広く発信。世界各地から人を呼び込むためのファクトリーツーリズムのコンテンツとしての活用等により、地域を活性化

## 背景

- ①「ひょうごの景観ビューポイント150選」の応募件数が931件、公式インスタグラムのフォロワーが1万人を超えるなど景観への興味深さを認識
- ②コロナ禍にも強い(密でない)、③R2兵庫のゆたかさ県民意識調査(地域への愛着、きれいなまちなみ:7割弱)

## 「景観形成重点区域」指定制度 ～インスタ映えするスポットを指定～

### 【概要】

#### 1 指定

- (1) 視点場: 景観形成重点区域を特に良好に展望できる地点(「ひょうごの景観ビューポイント150選」を想定)
- (2) 景観形成重点区域: 景観形成地区等内の特に優れた景観の形成を図る必要がある区域
- (3) 景観形成重点基準: 建築物等の屋根・外壁等に関する事項を定めた景観形成基準のうち、特に景観形成に必要な事項を規定(例: 屋根は和瓦葺き、外壁は漆喰・板張等)

#### 2 建築行為の指導等

景観形成地区等内での建築物等の増築、大規模な修繕等に関する届出への指導に加え、基準に適合しない場合には、改善の要請をした上で、命令することも可能

#### 3 支援(景観形成支援事業)の拡充(案)

- (1) 景観形成重点区域内の建築物等の修景に関して、助成の拡充を検討  
(参考) 現行制度: 助成率1/3、上限330万円
- (2) 視点場への標識設置及び民間が行う環境整備へ助成

### (参考) イメージ

#### ●【歴史的景観形成地区】宍粟市山崎町山崎地区

日本酒発祥の地 歴史的な酒蔵が建ち並ぶ城下町



酒蔵が建ち並ぶ通り【重点区域】

#### 良好な町なみ景観を形成する酒蔵 (景観形成重要建造物)



酒蔵が建ち並ぶ通り沿いを重点区域とし、酒造りの文化を発信するフィールドパビリオンとして更なる景観の形成を推進する。

## 「景観遺産」登録制度 ～ストーリーを登録～

### 【概要】

#### 1 登録

地場産業、商店街、農漁村の風景など、地域に根付いた景観をシリーズ化、ストーリー化して登録。除却の場合のみ届出を求め、必要に応じて指導・助言することも可能

#### (1) シリーズ化

地場産業(ノコギリ屋根の織物工場、焼物の登り窯等)、昭和レトロな商店街・古い銭湯・社宅、漁村・漁港、陣屋、工場地帯(夜景)、木造校舎 等

#### (2) ストーリー化

純血種が残った和牛の聖地、素麺(天日干し)等地場産業を営む原風景、奇跡的に残った武家屋敷群、玉ねぎ小屋の風景 等

#### 2 情報発信等による支援

- (1) アニメ等動画作成(若年世代の景観の教育)、SNS(インスタ、twitter等)
- (2) 地域・まちの活性化に向けたアドバイザー派遣(景観形成支援事業)

### (参考) イメージ

#### ノコギリ屋根の織物工場(シリーズ)



織物工場において、採光は、生地の状態や色合いを見るために、直射日光を避けた、安定した照度の明かりが必要で、北側に向けた窓を設け、1日を通して均一の明かりを採り入れようとしていた。また、屋根に窓を設けることで、広い作業場が確保できる利点があったこともあり、ノコギリの刃の形状の屋根に至った。広い面積に均等に明かりを採り込むことができる「ノコギリ屋根」は、織物産業で繁栄したまちなみを象徴するものである。

西脇市や多可町などは、加古川、杉原川、野間川が流れる地域で、染色に重要な水資源に恵まれており、織物産業に適している地域である。

### 効果

インスタ映えする若者が集うフィールドパビリオン

### 効果

地場産業のストーリー・景観を巡るファクトリーツーリズムにより世界中から誘客